

挑戦

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

平成31年1月30日 第9号(18-8)

発行責任者：校長 関田 誠

1/8 始業式式辞（抄録）

『雁のV字編隊の秘密』の話

～チームで力を合わせると一羽より飛べるんだ～

冬を越すために南に向かう雁が、V字型の編隊を組んで飛んでいくのはなぜか？なんと、V字型で飛ぶと一羽で飛ぶよりも、7割も遠くまで飛べる。1000kmが1700kmになる計算です。前の雁が羽ばたくと、後続の雁のために上昇気流を作ることができるので、後続の雁は楽に飛ぶことができます。後ろの雁は、ガーガー鳴いて前の雁を励まします。先頭の雁は疲れると、最後尾に回って別の雁と交代します。

V字編隊から脱落しそうになっても、一羽で飛ぶと抵抗が大きいので、すぐに戻ってきます。群れの一羽が病気や怪我で脱落すると二羽の雁が付き添って地上に降ります。この二羽は脱落した雁が回復するか、死ぬまで一緒にいて、その後の新しい群れに加わるか、独自の編隊を組んで元のグループに追いつくそうです。雁ってすごいですね。仲間同士助け合って飛ぶことで、大きな力を作り出し、一羽では考えられないほど遠くまで飛んでいくことができるのです。



人間も一緒です。同じ志をもち、同じ目標に向かって一緒に進む人がいると、信じられないくらいのパワーを生むことができるのです。生徒の皆さんには、この四月から大宮中という集団の中で、それぞれの学年、学級、あるいは部活動、生徒会活動等々のグループで進んできました。四月の自分から年が明けた今の自分を振り返ると、ずいぶん遠くまで、高くまで飛んできたと思いませんか？それは皆さん一人の力ではありませんね。仲間と協働して進んできたのです。いよいよ3年生は進路決定から卒業式、2年生、1年生は三学期最後のまとめと進級が目の前まで来ています。ぜひ、大宮中の伝統としたい絆を深めて、つながりを確かめ、励ましあって、三学期も勉学や体作りの鍛錬、そして豊かな心を育ててください。

あと一言。雁は体の中に自分が飛んでいく方角を探知する仕組みがあります。みなさんは？残念ながら、みなさんが進んでいく方向、つまり自分の目標や夢を自然に探知する仕組みはありません。夢や目標は、自分の頭で考えなければ生まれません。気持ちが新たな今、今年の抱負として自分の目標や夢、つまり進む方向を点検して充実した一年にしましょう。😊

海外留学報告会

福田夕夏 (2-B)

1

22(火)

私は今年度の夏休みに杉並区中学生海外留学事業に参加させていただきました。今回、約2週間のオーストラリア(以下豪州)での貴重な体験をみなさんに紹介したいと思います。

まずは、個人研究を発表します。テーマは「日本と豪州の踊りに対する関心、意識の違い」です。私は踊る事がとても好きです。バレエを習っていますが、他の踊りにも興味があります。豪州にはアボリジニのダンスもあるので、伝統的な踊りに対しての関心や意識の違いを知りたいと思いました。また豪州は多国籍社会なので様々な意見があると思い、それについても興味をもちました。この調査をするにあって日本で



は大宮中の2年生48人に、豪州では現地校であるウィロビーガールズハイスクールの生徒と街頭でインタビューした約80人にアンケートを実施しました。まず、知っている踊りについて質問しました。日本ではヒップホップやチアダンスの認知度が高く、豪州ではワルツやオセアニアの伝統的な踊りであるハカの認知度が高くなりました。

自国の伝統的な踊りを踊ったことあるか質問しました。日本では「はい」と答えた人が過半数を超えたのに対して、豪州では半分にも満たない結果となりました。さらに次は自国の伝統的な踊りを大切にしていきたいかを質問しました。日本では約80%が「はい」と答えましたが、豪州ではそれを上回る93%が「はい」と答えました。これらの結果から日本は有名な踊りは良く知っていますが、伝統的な踊りの認知度は低いといえます。ただしアンケートを実施する対象年齢が変われば結果も変わってくるかもしれません。豪州は踊りへの関心はとても高く、認知度も日本より高いといえます。近代的な踊りが普及していますが、その一方で伝統的な踊りへの関心を高め、そして後世へ受け継いで行くべきだと思いました。

次に驚いたことを3つ紹介します。1つ目は私の

ホストファミリーです。私のホストファミリーはビーガンです。ビーガンとは肉や魚など動物系のものを全く食べない人のことを言います。卵も牛乳もチーズも口にしません。豪州には、ビーガンは珍しくないため、ビーガン専門のメニューとレストランもありました。家庭ではお肉の代わりに、Soy meat, 牛乳の代わりに Soy milk を食べました。Soy meat の味はちゃんとお肉の味がしてホストシスターから言われるまで全く気付かませんでした。私のホストファミリーは動物愛護のためにビーガンになったそうです。2つ目は現地の学校に1週間通ったのですが、2時間目が終わった後にリセスというおやつタイムがあるということです。リセスがある理由は分かりませんが、日本の学校も取り入れてほしいと思いました。3つ目は豪州には小遣いの制度がないということです。その代わり、法的に14歳から働けるので、午前中はベビーシッターの仕事をし、午後から学校に通う生徒もいました。

私はこの留学期間を通して、ホストファミリーとたくさん話したいと思っていました。しかし話してみると、とてもスピードが速く聞き取れなかったので、何と答えればいいかも分かりませんでした。そんな私にホストファミリーや、ホストシスターの友達は私が分かるまで親切に聞いてくれて、優しさを感じました。最初は話すだけで精一杯だったことが嘘だったかのように一週間後には「楽しく」話せました。



ホストシスターと最後にショッピングモールに行った時は、とても話が続いてほんとうに嬉しかったし、英語の上達を感じました。お昼ご飯の時はホストシスターと、その友達10人くらいで集まって日本語でいつも話していることを英語で話せて良かったです。どんなときも親切に、優しくしてくれた私のホストファミリーは私のもう一つの家族のようです。そして、この留学での体験をこれから存分に活かしていきたいと思います。これで発表を終わります。

授業ぶらっと訪問⑦

1月29日(火) 2AB 男子保体 渡辺昌幸教諭

元気よく挨拶、準備運動。渡辺先生自ら、ステージ上で模範を見せます。柔軟運動を入念に行います。膝の深い屈伸、深い伸脚、肩甲骨回し、腕回し等。若いのに体が固い生徒がいます。コーディネーショントレという右手と左手を二拍子と三拍子で動かす訓練、股割り、腹筋、腕立て。渡辺先生も上着を脱いで半袖になります。「筋トレをやると一気に体が温まるよね」に生徒たちもうなずきます。

再び集合して、授業の流れを確認。今日は『ダンス』。ライジングサンとソーランです。生徒は「どっこいしょ、どっこいしょ」と大きな声で掛け声をかけて踊ります。足を踏み鳴らす音と振動で、体育館の空気が振動します。なかなかの迫力です。ダンスの授業は四回目ということです。この調子なら、2年生は6月の運動会でリーダーシップを発揮する姿が想像できます。

後半は4チームで、選んだ曲の振り付けを考えます。渡辺先生は全体を観察しながら、各グループの取り組みをチェックします。突然リーダーに集合をかけます。集まった四人に指示して

「8カウントの動き（エイトビート？）を単位に動きを考えて、チーム隊形を考えよう」と促していました。私の時代にはダンスの授業はありません。人前で踊ることに恥ずかしさがある世代です。生徒は楽しそう。渡辺先生、「2年生はダンスを楽しんでます。一年前と比較にならないくらい成長しました」。最後に整列して、「明後日、振り付けの発表披露をしてもらう」ことを確認して終わりました。それにしても体育館は寒いです。7℃です。私は凍えました。生徒は元気です。



1月29日(火) C組保体 関根教諭

今日のC組は、体調不良でお休みが何人かいります。関根先生の保健体育の授業です。体育館に集まってから、まず準備運動にラジオ体操を丁寧におこないます。次に縦を5往復ダッシュ。体が暖まってジャージを脱ぎ始めます。スキップで一往復します。



二月中旬にあるスキー教室の体力づくりも兼ねて、積極的に動くように関根先生は指示します。次はサイドステップ一往復です。一回ずつ「疲れた～」としゃがむ生徒に、回りから「ネバーギブアップ」という呼びかけがあり起き上がらせています。いよいよドッヂビー開始です。ドッヂビーはフリスビーをソフト素材で作った遊具です。関根先生が見本を見せながら、投げるポイントを示した後、キャッチする時のポイントを説明します。スキー教室の時、天候が悪い時はドッヂビ大会になるそうです。『中当て』をやりました。コーンで囲んだ四角形の中に生徒が入り、外側四か所に先生を配置して、ドッヂビーを投げて当ります。当たらたら体育館のまわりを走ります。

「校長先生も一緒に入ってください」の声がかかり、私も投げ役で参加しました。私は軽快な動きを披露できず歳を感じました…。生徒たちは一生懸命逃げ回ったり、罰ゲームで走ったりと、かなりの運動量でした。その後チームに分かれてドッヂボール形式のドッヂビーを行いました。体育館の寒さを忘れる50分でした。

困っています。譲ってください

C組の着脱練習用スキーブーツの底がボロボロです。ご自宅に不要のブーツがありましたら、お声かけください！



オリパラ 学習会 パラローイング（ボート）体験

12

21 (金)

昨年の二学期最終日に、体育館で全校生徒対象に、日本パラローイング協会の方をお招きして、障害者競技であるパラローイングのお話と実際に障害者トップアスリートの漕ぎ方の説明を受けました。その後、あらかじめ搬入設置しておいたローイングマシン四台を使って、学級対抗1500メートルバーチャルローイングバトルをおこないました。最後まで争った3年B組に鼻の差で競り勝って優勝した2年B組は、大喜びしていました。



百人一首大会 (第1学年)

1

19 (土)



恒例の百人一首大会を、多目的室に畳を敷いて実施しました。杉並かるた会から3名の外部指導の方をお招きしました。大学生2名と中学生1名の女性で、正式に袴を着用されており、本格派の雰囲気を漂わせていました。

競技かるたA級(最上級だそうです)の方に、詠み手(読手と言います)を務めていただきま

した。大変優雅な詠み方で、琴の調べが聞こえてくるようでした。また、A・B組対抗戦の終了後に、正式な競技かるたの模範競技を見せていただきました。

生徒会本部 頑張ってます!

1

16~18

① 小中合同挨拶運動

大宮小、済美小児童会の児童と合同で、朝の生徒・児童の登校時に、三校の正門前で挨拶運動をおこないました。



② 展示発表会 3/2 (土)

『パフォーマンス部門』に挑戦

3/2 (土) の展示発表会終了後に、生徒会本部が熱望していた、本部運営によるパフォーマンス披露の時間(12:00~12:30)を実施することにしました。大宮中生が、日頃磨いたどんな『芸』を発揮してくれるか楽しみです。お時間のある保護者・地域の方も、展示部門の見学のついでに、ご参観ください。

インフルエンザ流行 最大警戒中

本校でも年末からインフルエンザにかかる生徒が現れています。年明けから警戒体制に入っています。手洗い、授業の際に閉め切った状態にしないように、教室の換気をマメに行うことで、何とか流行を食い止めていきます。ご家庭でも健康管理のご指導ならびに、体調の悪い状況での無理な登校は控えるようお願いいたします。